

2024.2.6

2023～2024年度 国際ロータリー会長
ゴードン・R・マッキナリー2023～2024年度
国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-2024・第17号

平和構築と
紛争予防月間2023～2024年度
クラブテーマ 「one for all, all for one でロータリーを楽しむ」

[本日の例会] 会長の日・雑誌の日

[次回予定] 2/13 (火) 高崎ソフオニ-RCとの合同親睦例会

・・・例会報告 / 1月30日 (火)・・・

■卓話 シネマテークたかさき 支配人 小林栄子様

<ご来訪者>

シネマテークたかさき 支配人 小林栄子様

「1月28日(日)DEIフォーラム」
報告 松澤達也会長卓話講師紹介
水上勝之プログラム副委員長

シネマテークたかさき 支配人 小林栄子様

■ニコニコBOX(1月30日)

水上 勝之君 小林栄子様、映画の話ありがとうございます

松澤 達也君 小林様、今日はよろしくお願ひします。
映画大好き少年です

多胡 友弘君 小林様、本日はよろしくお願ひします。ちなみに
私は古いフランスのやくざ映画が好きです

森本 淳君 本人のお誕生日。77才となりました

■ロータリー財団寄付

(年次)

柳澤 佳雄君 水上 勝之君 森本 淳君

(ポリオ)

水上 勝之君

■米山記念奨学会寄付

水上 勝之君 森本 淳君

	ロータリー財団		米山記念奨学会
	年次寄付	ポリオ寄付	
本日の合計金額	81.62ドル	6.80ドル	3,000円
累計金額	3881.17ドル	632.12ドル	404,000円
年度目標	4500.00ドル	900.00ドル	390,000円
達成率(30名)	86.25%	70.24%	103.59%

本日の食事

■出席報告
(1月30日)

会員総数	30名
出席計算会員数	30名
当日出席者	21名
会場出席率	70.00%

■食事状況(1月30日)

※食事のムダをなくすために、
出欠・食事有無の連絡に
ご協力お願い致します(SAA)

食事数	25食
無連絡欠席者	2名
食事余り	4食

■卓話「シネマテークたかさきと映画」 シネマテークたかさき 支配人 小林 栄子 様

『まちの映画館“ミニシアター”の活動と課題』と題しまして、シネマテークたかさきの設立経緯から現在ミニシアターが抱える問題、ミニシアターが持続可能な場所となるために「公共性のある文化施設」としての役割を示していくこと、そのための主な活動について紹介させていただきました。

ミニシアター(シネマテークたかさき)設立の経緯について

かつて高崎では、東京を10とすると高崎で観られる映画は3でした。こうした地域格差をなんとかしたい、東京へ行かずとも高崎で観たい映画を観たい。と願う市民映画ファンが立ち上げた自主上映会が1987年「高崎映画祭」へと発展。いつでも多様な映画が選んで観られる場所を作りたい！という映画祭スタッフの長年の想いは2004年「シネマテークたかさき」というミニシアター開設へと結実しました。

全国の映画館数は現在590館。うちミニシアターは136館です。2023年日本で公開された映画作品数は1151作品。このうちの約50%がミニシアターでしか上映されていません。ミニシアターは、少ないスクリーン数でありながら、多様な作品を観る機会を担保する場所であり、ミニシアターがなければ、約半数の映画が上映の場を失うこととなります。しかしながら、小規模の映画館の経営は映写機の買い替え(10年周期)、建物の修繕、固定費の上昇など、全国的にミニシアターの運営は苦境に立たされています。そして、コロナ禍を経験してミニシアターの「経営基盤の脆弱さ」「恒常的に映画館を支える公的な支援の必要性」が明らかになりました。

日本は諸外国に比べ、文化活動に対する公的支援がとても少ないのです。公的な支援を受けるために、ミニシアターがいかに地域に必要であるか、そして「公共性のある文化施設」としての役割を示していくか悩まなりません。そのために、地域のコミュニティや文化団体との連携を重視したプログラムづくりや、若年層の観客の開拓、教育プログラムなど多様な活動を行うことが必要と考えます。このことにより、地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなります。

シネマテークたかさきでは、2023年11月にドキュメンタリー映画『私たちの国立西洋美術館』上映の際に、高崎市美術館の塚越館長をお招きし、両美術館の共通点と相違点、高崎市美術館の裏側などお話をいただくスクリーントークを行いました。また、同年12月には、高崎、前橋、横浜のミニシアター4館が連携し、それぞれの映画館でその街にゆかりのある映画を選定し、お互いの映画館で上映し合う「地域交流上映会」を開催。高崎からは、高崎出身の映画監督・枝優花(えだ・ゆうか)監督の長編デビュー作『少女邂逅』を横浜のミニシアター(シネマジック&ベティ)で上映。本作を観て映画監督を志し現在映画製作を学ばれている太田市出身大学生や、大学の課題でやってきた横浜の大学生が本作を初めてご覧になり、心酔し、早速冬休みを利用してロケ地巡礼に高崎へいらっしゃいました。1つの映画が、まちを繋げ、映画の作り手を生み出す。映画の可能性を感じる上映会となりました。

ミニシアターには、「次世代の観客を育てる」、「作り手を応援する」といった映画と観客と作り手をつなぐ場所としての役割があると思います。「映画館に来ればおもしろいことがある」と実感していただけるように、小回りが利く小規模な映画館だからこそできることを強みとして活動しています。

コロナ禍で、新作映画をすぐに配信で観られるようになった時代ですが、ミニシアター(映画館)の場としての魅力を創造して参りたいと思います。ぜひシネマテークたかさきで知られざる映画を観て、映画体験を通して、新たな世界に触れていただけたらと思います。

 **cinémathèque**
NONPROFIT ORGANIZATION TAKASAKI COMMUNITY CINEMA takasaki

例会場・事務所/ホテルグランビュー高崎 高崎市柳川町70
TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733
E-mail : takasaki-cent@rid2840.jp
例会 / 毎週火曜日 18時30分